

## これまでの経緯

### ○ 「やまがた森林ノミクス」宣言 (平成25年11月)

知事と35市町村長が参画した「やまがた里山サミット」において、知事が地域の豊かな森林資源を「森のエネルギー」、「森の恵み」として活かし、地域活性化に取り組んでいく「やまがた森林ノミクス」を宣言

### ○ 「山形県の豊かな森林資源を活用した地域活性化条例」(やまがた森林ノミクス推進条例)制定 (平成28年12月)

- ・林業及び木材産業の振興に関する施策
- ・森林資源の活用の促進に関する施策

### ○ 「やまがた森林ノミクス加速化ビジョン」の策定 (令和3年3月)

#### ■令和12年度の目標■

木材(素材)生産量	再造林率	林業労働生産性	JAS製品等出荷量
90万㎡	100%	10㎡/人日	12万㎡

## 「やまがた森林ノミクス」の主な取組み

### 川上対策

#### ◇県産木材の安定供給の推進

- ・高性能林業機械導入に対する支援の継続
- ・高性能林業機械のレンタル経費への支援 (R1～)
- ・高性能林業機械のヘッド更新への支援 (R4～)
- ・森林クラウドシステムの運用開始 (R1～)
- ・スマート林業推進のための航空レーザ測量実施 (R2～)

#### 【高性能林業機械保有台数】

H25 : 53台→R3 : 201台

#### 【木材(素材)生産量】

H25 : 31.4万㎡→R4 : 58.0万㎡

#### 【林業労働生産性】

H25 : 4.9㎡/人日→R4 : 7.0㎡/人日

#### ◇再造林の推進

- ・「山形県再造林推進機構」と連携した再造林経費の100%支援 (H30～)
- ・コンテナ苗の生産資材、施設整備への支援 延べ12生産者 (H27～R1)
- ・花粉が少なく成長の早いスギ品種の採種園造成 4カ所 (R1～)

#### 【再造林率(面積)】

H25 : 15% (23ha) →R4 : 76% (145ha)

### 川中対策

#### ◇県産木材の加工流通体制の強化

- ・大型集材工場(新庄市: H29)、人工乾燥機を備えた製材工場(新庄市: H30、白鷹町: H28)の整備
- ・製材工場のJAS認証取得への支援 4工場 (H29～R2)
- ・木質バイオマス発電用チップの生産施設整備への支援 5工場 (H26～H30)
- ・県産広葉樹材の保管施設整備への支援 4工場 (R2～)

#### 【JAS製品等出荷量】

H25 : 2.9万㎡→R4 : 8.2万㎡

### 川下対策

#### ◇建築物の木造化・木質化の推進

- ・県産木材を活用した新築住宅支援の継続や民間建築物への支援 (R1～)
- ・公共施設の木造化・木質化の推進  
木造化 白鷹町まちづくり複合施設 (R2)、県立米沢養護学校西置賜校 (R4) など  
木質化 県庁ロビー (R1)、山形市南部児童遊戯施設(コバル: R3)、県立新庄病院 (R4) など
- ・「木造建築物の設計・施工に係る人材育成等に関する木材利用促進協定 (R4)」に基づく、中大規模木造建築物の設計を担う「やまがた木造設計マイスター」の育成 (R5～)

#### ◇県産木材の活用推進

- ・間伐材等の搬出支援の継続
- ・「しあわせウッド運動」の推進 (H29～)  
幼稚園等への木製積木のプレゼント 326施設 (H29～R4)  
県産木材日用品製作支援 8事業者 (R2・R3)  
県産木材利用顕彰(しあわせウッド賞)の創設 14施設を顕彰 (H30～R2) など

#### ◇特用林産物(山菜・きのこ等)の振興

- ・全国山菜サミットの招致 (H27: 大江町、R1: 真室川町)
- ・きのこの生産資材、施設整備への支援 37事業者
- ・きのこ生産資材や燃油の高騰に伴う掛かり増し経費への支援 (R4・R5)

### 総合的な対策

#### ◇人材の育成・推進体制の強化

- ・県立農林大学校林業経営学科の設置 (H28) 令和4年度まで73名卒業
- ・青年林業士認定制度の創設 (H28) 令和4年度まで42名認定
- ・(公財)やまがた森林と緑の推進機構の設立 (R3)
- ・東北農林専門職大学の開学準備 (R1～)

#### ◇林工連携の推進

- ・新たな製品・技術の開発を目指す林工連携コンソーシアムの設立 (H29)  
木製防火玄関ドアや木製防火サッシの開発 (H29・R3)、  
クロモジアロマオイルの開発 (R2)、木造農業ハウスの開発 (R3) など

#### ◇森林資源を活用した魅力ある地域づくり

- ・森林空間を活用した森林サービス産業創出を推進するための体験型モデルツアーやイベント等への支援 (R5～)